

「叛逆の白狼」と謳われた革命運動家、ユキ。

その気高き誇りは今。

…人身売買の湿り気を帯びた、人目塗れた檻の中に沈んでいた。

ぬち…♡ぬちや♡クチュ♡クチュッ♡ヌチュ♡クチュッ♡

「ハァ♡はぁっ♡うう♡グウうう…っ♡♡」

「フヒヒ♡ケツマンコがよおく痙攣してるぞ♡メス狼ちゃん♡」

30XX年現代。人間が覇権を握るこの世界では。

人との間に交配・繁殖した獣人は、ただの人的資源である。

強い肉体を持つものは強制労働へ。

容姿の美しく瑞々しいものは、…愛玩具として。

そう、見目美しくしなやかな狼獣人のユキは後者であった。

「はなせ…変態猿どもめッ♡♡♡あぁ♡♡♡いつ♡い♡やぁ♡♡♡」

「離さない♡今日はおじさんが君を買ったんだからネ♡」

パンパン♡パン♡ヌチュッ♡パン♡♡♡♡

ユキはもともと、人間廃絶を掲げる革命家であった。

耳の形が違うだけで、容赦なくヒト以下の扱いを強いるこの世界はおかしい！

悪逆の退化著しいニンゲンを一匹残らず駆逐し、同胞の仇を必ず討つ！！

人間との衝突紛争のたびに前戦に立ってきたユキ。

それは、悪運にも陰湿で執拗な奴隷商の目に留まってしまいうきっかけとなってしまう。

ある日の野営で、見張のために群れを離れたユキは、奴隷商に捕まり、愛玩具として後ろや口すべての穴をいじめ開発され…。

今日、人身売買の品として売り出される羽目になってしまったのであった。

「お前たちを必ず殺すうつ♡♡俺の牙が折れようともツツツ！！！！キャウン♡♡♡♡♡」
「おい、生意気だぞ♡♡」

人狼オークションの見せ物小屋にて人間との公開レイプをさせられているユキは、抵抗も出来ないのにその身を逆立たせた。

殺意のまなざしをやめないユキの頬を、調教師がビンタする。

柱を掴ませられ拘束を外された片足のみを抱えあげられる。「字のような姿勢で。肥えた人間たちの卑しい指が、未開発の菊門を弄り回す。」

